

45号のトピックス

回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会in沖縄



3月4日（金）～5日（土）に第26回研究大会 in 沖縄が開催され、演題発表・ポスター発表で当院のスタッフが発表してきました。

「リハビリテーション看護に対する看護師の意識変容～意識障害患者への看護を通して～」

看護師 今井志保

「経鼻栄養チューブ自己抜去に関する要因」

看護師 宮崎玲子

「脳卒中片麻痺患者の歩行とスピチュアリティの関連」

看護師 松山旭

「自発性低下を主症状とする一例を通して」

作業療法士 早川朋孝

「家族の患者を思う気持ちを優先し、栄養プランを立案した一例」

栄養士 後藤智恵

「完全側臥位法による直接訓練の導入により3食経口摂取が可能になった一症例」

言語療法士 星野智子

学会を通して、どの病院も問題点や、実践の検討に大きな変わりはないのではと感じました。このような場で意見交換し、それぞれがさらに発展ができると良いと感じました。そのためには現状の問題点、症例について考え、実践し、それらを研究として発信していく必要があると思いました。

参加して、地域連携の必要性を再確認する事ができました。

初めての学会発表でとても緊張しましたが、たくさんの方から意見をいただき勉強になりました。また、回復期のさまざまな発表を聞き今後の刺激にもなった。今後の臨床に活かしていきたいと思いました。

初座長、無事終わり、沖縄で飲むオリオンビールは最高でした！

